

56 僕と私たちの竹林 <狛江弁財天池特別緑地保全地区>



【講評】

狛江の玄関となる狛江駅北側に位置する「狛江弁財天池特別緑地保全地区」は、都内では珍しく、駅前に位置する緑豊かな地域であり、癒しの空間を作り出しています。この地区内にある竹林のエリアでは、自然を活用し、子どもと竹の成長を一緒に見守っていく機会といった、自然との関わりを学ぶ機会を提供しており、自然を身近な教材として活用されています。管理をされている「狛江弁財天池特別緑地保全地区市民の会」の市民の皆さんのこのような活動を評価し、過去に選定した「緑地保全地区一帯」とは違った視点で選定しました。

【推薦コメント】

毎年幼稚園児・小学生を対象に筍の発見と各自が発見した筍の成育調査と観察を4～6名限定公募しております。

四年目の今年は、命名竹（調査、観察者の氏名）が14本になりました。命名竹には調査者自身サインしたカードが竹についております。成人式を迎えたその日に、この竹とサインカードをプレゼント出来れば良いと考えています。

今年も3月下旬に公募6名の応募者がありました。各自で筍を発見、偶数日には朝七時に集合、各自の筍の成育を調査しました。

幼稚園児にはまだ“長さを計測する観念が希薄”。先ず筍と自身の指、腕、肩、身長を比較し、メジャーで自身の指、腕、身長も計測。センチ・メートルが自然に身についていきました。特に計測用メジャーは初めて見、使用する喜びは格別でした。そして、筍がパパ、ママより大きくなった日は大歓声！！

五月になると筍から竹になります。その変化の観察を週一回（土曜日朝七時集合）竹皮の脱落、新竹と旧竹の比較、竹枝の状態等それぞれ観察、竹水も味わう。新竹の美しさは格別です。是非多くの方々に観賞していただきたいものです。

筍の成育調査（四月偶数日、早朝）竹になる五月の観察会を終えて！！学校に行く前早起き！！家族の協力努力は大変だったと想います。苦しい思いは彼等の人生に大きい影響を及ぼすことでしょう。出でよ！！科学者！！ノーベル受賞者！！

受賞者：狛江弁財天池特別緑地
 保全地区市民の会
 推薦者：小笠原 正 さん